⑵　業務形態

１）構成員の分担業務が、業務の内容により「那覇港土質調査業務設計共同体協定書」において明らかであること。

２）一の分担業務を複数の企業が共同して実施することがないことが、「那覇港土質調査業務設計共同体協定書」において明らかであること。

⑶　代表者要件　構成員において決定された代表者が、「那覇港土質調査業務設計共同体協定書」において明らかであること。

⑷　設計共同体の協定書　設計共同体の協定書が、「建設コンサルタント業務における共同設計方式の取扱いについて」（平成14年８月１日付け府開管理第593号）の別紙－１に示された「○○○○設計共同体協定書」によるものであること。

５　一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていない者を構成員に含む設計共同体の扱い

４⑴２）の認定を受けていない者を構成員に含む設計共同体も２及び３により申請をすることができる。この場合において、設計共同体としての資格が認定されるためには、４⑴２）の認定を受けていない構成員が４⑴２）の認定を受けることが必要である。また、この場合において、４⑴２）の認定を受けていない構成員が開札の時までに４⑴２）の認定を受けていないときは設計共同体としての資格がないと認定する。

６　資格審査結果の通知

「競争参加資格認定通知書」により通知する。

７　資格の有効期間

６の設計共同体としての資格の有効期間は、設計共同体としての資格の認定の日から当該業務が完了する日までとする。ただし、当該業務に係る契約の相手方以外の者にあっては、当該業務に係る契約が締結される日までとする。

８　その他

⑴　設計共同体の名称は、「那覇港土質調査業務△△・××設計共同体」とする。

招　　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和３年３月１日

国立大学法人東京海洋大学

契約担当役事務局長　堀内　　敦

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　13

○第２号

１　調達内容

⑴　品目分類番号　24

⑵　導入計画物品及び数量　レーダ・ＡＲＰＡシミュレータ　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入予定時期　令和３年度１月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

Ａ　レーダを使用して、自船周囲の相手船、地物および航路標識などの情報のほか、ＡＩＳ（自動船舶識別装置）搭載船からＡＩＳ情報を収集する訓練（レーダ訓練）が行えること。

Ｂ　レーダ情報を解析し、衝突危険、適用規則、航行目的などの情報を総合的に評価し、ＥＣＤＩＳ（電子海図情報表示システム）と連携しながら、自船の行動を決定し、実行する訓練（ＡＲＰＡ訓練）が行えること。

Ｃ　ＳＴＣＷ条約の改正等に伴い船員養成に新たに必要となった、ＥＣＤＩＳ（電子海図情報表示システム）や、ＢＲＭ（ブリッジ・リソース・マネジメント）訓練への対応が行えること。

Ｄ　東京湾、伊勢湾、瀬戸内海などに代表される、多様な船舶が集中して航行する海域を再現した操船環境のなかで、操船を繰り返し、高度な運航技術を習得する訓練（輻輳海域航行訓練）が行えること。

Ｅ　複数のモデル船によって多様な海況や海域を想定し、有視界を併用した運航訓練が行えること。

Ｆ　東京海洋大学品川キャンパス（２自船）および越中島キャンパス（２自船）において同時に運用することができ、かつ各キャンパスに教官卓を有し独立して運用できること。

２　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　令和３年４月１日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提供先　〒108―8477 東京都港区港南４―５―７　東京海洋大学経理課調達・船舶係　杉山　理人　電話03―5463―0368

３　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　令和３年３月１日から令和３年４月１日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

４　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

５　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 24

⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : ARPA／Radar Simulator 1 Set

⑶　Type of the procurement : Purchase

⑷　Basic requirements of the procurement :

A　The simulator is equipped with radar and AIS which can be used for training to identify other ships surrounding own ship, features and sea marks and to collect AIS information.

B　The simulator can be used for the ARPA trainings to determine and execute the actions of the own ship after analyzing radar information, judging the danger of collision, and comprehensively evaluating information such as applicable rules and navigation objectives. In addition, these can be done in cooperation with ECDIS (Electronic Chart Display and Information System).

C　The simulator can be used for ECDIS (Electronic Chart Display and Information System) and BRM (Bridge Resource Management) training.

D　The simulator can be used for the training to acquire advanced ship navigating skills by repeating maneuvering in a ship maneuvering environment that simulates the sea area where is congested with various ships, such as Tokyo Bay, Ise Bay, and the Seto Inland Sea.

E　The simulator can be used for navigation training using multiple model vessels, assuming various sea conditions and sea areas, and using visual information.

F　The simulator can be operated simultaneously at Tokyo University of Marine Science and Technology Shinagawa Campus (2 own ships) and Etchujima Campus (2 own ships), and each campus has an instructor table and can be operated independently.

⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　1 April, 2021

⑹　Contact point for the notice : Rihito Sugiyama, Procurement Section, Accounting Division, Tokyo University of Marine Science and Technology, 4―5―7 Konan Minato-ku Tokyo 108―8477 Japan, TEL 03―5463―0368

意見招請に関する公示

次のとおり調達物品の仕様書案の作成が完了したので、仕様書案に対する意見を招請します。

令和３年３月１日

支出負担行為担当官

消防庁総務課長　齋藤　秀生

◎調達機関番号　012　◎所在地番号　13

１　調達内容

⑴　品目分類番号　26

⑵　件名　ＮＢＣ災害対応資機材セット

⑶　数量　６式